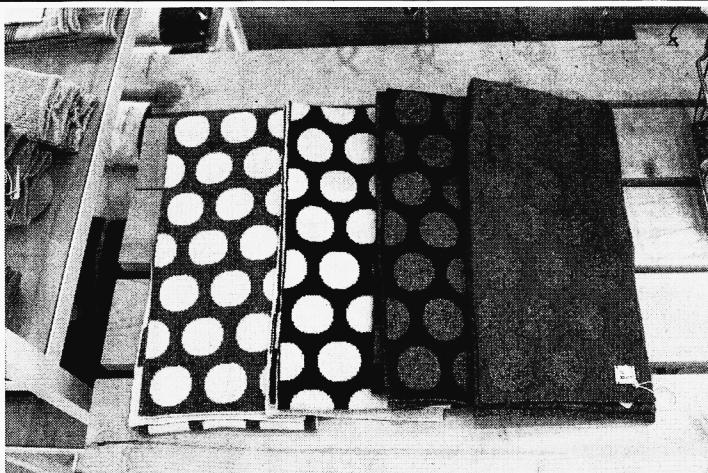


グッドデザインぐんまを受賞

「OTA K N I T」普及へ弾み

マウンテンディアー



受賞作品のドットマフラー

太田市内のニット製造業活性化のために昨年誕生した「OTA K N I T」（おおたニット）が、地域ブランドとして知名度を着実に広げている。

おおたニットの仕掛け人の中江田町、磯部孝浩代表が生産した「ファインウール」が生産した「ファインウ

ー

ルドットマフラー」が、17年度グッドデザイングランプリ優秀賞を受賞した。

同マフラーはスーパー

ファインウールという高

級糸を使い、保温性に優

れ、ウール特有のちくちく感が少ない。コーディネートしやすい大きめのドット柄が特徴だ。

「かなり品質の良いもの」を、ほどよい値段設定した」と、山鹿代表の妻でデザイナーの山鹿直子さんは語る。「男性でも女性でも着こなしやすいデザイン」になつているという。

受賞の対象となつたフ

ァインウールドットマフ

ラーは8500円（税別）

で、マウンテンディア

ーの店舗や、同社が展開するオリジナルブランド、「t o t o u c h」の

チャネルを通じ販売して

いる。

「出足は予想以上。特

に日本海側のショッピング

街が好調」（山鹿代

表）。立ち上げたばかり

にもかかわらず好調な理

由を尋ねると、直子さん

はスマートフォンを取り

出しインスタグラムのホ

ーム画面を表示して見せ

た。SNSを活用し、知

名度拡大を図っている。

そもそもマウンテン

ディアーがオリジナルブ

ランドを開拓する中で、

おおたニットを新ブラン

ドとして立ち上げたの

は、太田市のニット産業

の復興に対する強い思い

から。ニット産業の衰退

に伴い、後継者不足に悩

む太田市のニット工場を

活性化し、事業承継をス

ムーズにすることが最優

先課題だったと山鹿代

表は語る。

このため、おおたニットのデザインは、直子さんが担当し、製造は太田市の工場にすべて任せられたシティプロモーション」の認定事業となつていて、現在は市内3工場と製造委託契約を結んでいるが、将来的には委託契約の拡大も検討する。

「打ち上げ花火で終わってはいけない。背伸びせず、安定した持続的なビジネスにしたい」と山鹿代表は抱負を語る。